



FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.4)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

今回は「(株)ジェンツ」さんです。

今年の8月で創業50周年を迎えた(株)ジェンツさんですが、実は有名テーラーや国内の高級百貨店のオーダーサロンとの取引が主なので、ご存知ない方もいるかもしれません。

しかし、その技術は2002年サッカーワールドカップの際、日本代表のオフィシャルスーツを製造したほどの品質です。

(株)ジェンツさんの特徴は、オーダーメイドの紳士服が工場直販で手に入る事。高品質な紳士服が、身近なところでお求めやすい値段で提供されています。



クローズアップ

入社したきっかけは？

高校の機械科を卒業しましたが、担任の先生の勧めで入社を決めました。

今の目標は？

1着の洋服を最初から最後まで全部自分で作ってみたいです。自分の作った1着を誰かに喜んでもらいたいですし、その服に愛着を持ってくれたらうれしいですね。

夢を仕事にすることは一握りの人にしかできませんけど、今の自分は、仕事を通して夢や目標を見つけることができよかったですと思っています。



たんのけいと
丹野景登さん
(入社8年目)

【会社概要】

所在地：福島市飯坂町平野

代表者：長沢 晴夫

創業：1969年8月

資本金：900万円

社員数：135人

主要製品：紳士服

連絡先：☎542-3177

■問／産業創出推進室 ☎525-4022

1着の洋服に職人技と福島愛を込めて

株式会社ジェンツ



We Love♥ふくしま!

第22回「ワンチームで災害を乗り越えよう」

台風19号は、県内各地で観測史上最大の雨量、水位を記録し、甚大な被害をもたらしました。亡くなった方は11月8日現在、その後の大雨を含めると、県内で32人、全国で95人に上り、本市でも約900戸におよぶ家屋などの被害が生じました。

亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表し、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

市では、13本の避難情報を発令し、発災後は、リ災証明書発行、災害ごみ処理、ボランティアによる支援活動など、被災者の負担をできるだけ軽減するよう留意しつつ応急対策を講じてきました。11月5日には市議会緊急会議で、補正予算・条例を可決いただき、被災者支援と土木・農林関係の早期復旧に努めています。

大震災からの復興道半ばにして、追い打ちとなるような災害。一段とつらい災害です。しかし、乗り越えていかなければ

なりません。そのためにはまず、災害に強いまちをつくること。今回の災害対応を検証し、今後も異常気象を想定しながら、情報伝達や避難体制、河川整備など、ハード・ソフトの総合的な対策を強化してまいります。

その際、国・県・市の緊密な連携はもとより、「自助」「共助」「公助」の組み合わせが大事です。市民の皆さんも、ハザードマップで地域の危険性を確認する、自ら気象情報や避難情報を入手し身近な人に教える、そして避難するなど、主体的な行動を心掛けてください。

最近、明るい話題を提供したのは、ラグビーワールドカップ日本代表の活躍でした。体格や出生のルーツなどの異なるメンバーが「ワンチーム」に結束し、ひたむきにプレーしたのが感動を呼び起こしました。

来年は東京2020大会、古閑裕和さん夫妻がモデルの連続テレビ小説「エール」の放映。福島市にとっては、またとない飛躍のチャンスです。私たちも、オール福島がワンチームになって、この難局を乗り越え、世界に「エール」を送れるまちへと変貌していきたいものです。

福島市長 木幡 浩